

けんけんほっとライン

せいぎかい

2010 9

民主党・無所属の会 草加支部
(支部長 山川百合子県議会議員)

5つの**気**で頑張ります! **元気! 本気! やる気! 勇気! 根気!**

東京スカイツリーで 草加に観光客を呼び込もう!!

9月11日現在
461m



埼玉県議会議員
民主党・無所属の会 草加支部 支部長
山川百合子

完成すると自立式電波塔として世界一の高さとなる東京スカイツリー。再来年(2012年)の春には開業予定で工事が進んでいます。建設途中でありますが、その様子を見ようと、多くの人々がツリーを訪れています。

世界で最も高いツリーが完成すれば、国内だけでなく外国からも多くの観光客が訪れるでしょう。その観光客を私たちの街、草加そして同じ東武鉄道沿線、日光街道が通る街々に呼び込んでこよう、そういう取り組みに県でも力をいれるべき、そんな提案を埼玉県にしています。

県議会で知事に提案

7月23日、埼玉県議会の本会議の席上、「東京スカイツリーを埼玉県東部地域の観光の起爆剤に」と題した質問及び提案を行いました。「東京スカイツリーは、草加を含む東部地域にとって貴重な観光資源となる、これを活用しない手はない!」との認識からです。

埼玉県は、今年の1月に上田知事が「超(ちょ)観光立県宣言」を発表しています。宣言文にもあるように、県の観光振興のコンセプトである「日帰り観光」「東京訪れる観光客を積極的に横取りする」、にまさに合致する場所に位置しているのが草加、そして日光街道沿い・東武線沿線の街(埼玉県東部地域)なのです。

ところが、埼玉県が定めた観光客の訪問を促進するためのルート(観光経路)のうち、日光街道はメインルート(5本)、オブションルート(3本)のいずれにも入っていないのです。

議会質問と知事の率直な答弁

しかしながら、本会議場での知事とのやりとりは、とても意義あるものになりました。私から知事への提案の基本は、「東京日本橋を基点としたときに、これまで東京タワーが位置していた東海道方面にむきがちな国民の意識を、新しい東京スカイツリーが位置する日光街道方面に引き寄せる大きな可能性があるのではないか」との考え方でした。「日光街道や東武線沿線に光をあてて、埼玉県の重要な観光資源として(東京だけの観光資源ではなく)、積極的かつ戦略的に活用することが大事」と訴えました。

東京スカイツリーを観光資源として期待する発想は、スカイツリーが見える私たち草加市民にとっては容易に理解されますが(市議会では関一幸議員がこの課題を取り上げています)、そのことが知事に伝わるかどうか、不安もありながらの提案でした。実際知事の答弁は重々しく感じました。しかし内容は率直でした。

「台東地区に集客力のあるタワーが建設されることは、本県への観光客を拡大させるチャンスではないか、というアイデアには正直驚いた」「スカイツリーがテレビのニュースで流れるたびに、ムツときていて、頭が大分固くなって」「松尾芭蕉の足跡、日光街道の町並み、草加せんべいやクレヨンしんちゃん(春日部)、らきすた(鷲宮)などの資源を、東京スカイツリーに結び付けるといふ、大胆な発想には目が覚めた思い」「隣接した地域、他県とも連携しながら集客力を向上させていくということは当然考えなければならない」といように、率直かつ前向きな答弁となりました。この知事答弁をうけて東部地域の観光促進に県としても力を入れていくことが期待されます。

今後の取り組み ~地元の熱意と行動と共に~

具体的な取り組みとして提案した、街道筋の歴史を踏まえた「ゆるキャラ」の製作については、県が鉄道業者に働きかけることになりました。「ちょっと足を伸ばそう! ~ぶらり埼玉の旅」という企画も提案しましたが、どのような面白い企画を自治体がそして地域が連携して出来るか、という点が重要です。スカイツリーには外国人の観光客も押し寄せるでしょう。外国人観光客をひきつけるのは何か、高年者、若者をひきつけるのは何か、専門家を交えて分析し、今ある歴史遺産や伝統産業に加えて、新しいものを生み出していくことも重要になってきます。(参考:草加商工会議所では、今年12月にスカイツリーと草加の産業観光を結びつけた日帰りツアーを企画しているそうです。)

是非、埼玉県東部に観光客を呼び込み、地域の元気につながっていく取り組みを、オール草加そして近隣の自治体との地域連携で取り組んでいきたいと思っています。是非皆さんの力をよろしくお願いします。



草加の地場産である浴衣生地
のシャツを着て登壇



宣言文 (一部を抜粋します)

- 一、埼玉県は首都圏4000万人のマーケットを控える優位性を最大限活かし、気軽に訪れることができる日本一の日帰り観光県を目指します。
- 一、埼玉県は自然、歴史、文化など日本の縮図といえる特徴を活かし、東京を訪れる外国人観光客を積極的に横取りします。

県議会で 東京スカイツリーに触れることはタブー?

実は、東京スカイツリーが埼玉県にとって良いもの(資源となるもの)であるから、おおいに活用しよう、という発言をしにくい空気が議会の中にあるように感じていました。何故なら、この新タワーの建設場所の選定をめぐっては、埼玉県も熱心に誘致活動(さいたま新都心駅西側)を繰り広げたのですが、結果としては誘致合戦に敗れてしまったからです。

また私の議会質問と時を同じくして、誘致予定であったさいたま新都心の土地の開発に決まっていた企業グループが、事業環境の悪化により本事業から撤退したところでもありました。

